

科目名	看護教育実践論 Nursing Pedagogy	科目区分	共通	単位数	2単位
教員名	坂本真理子*, 篠田かおる* *:実務家教員	必修・選択	選択	開講年次	第1学年
				開講学期	後学期
科目概要	看護教育方法について学修する。看護教育の実際を体系的に学び、授業案を作成する演習を通して方法論を修得することをねらいとする。				
目標	1 看護教育のカリキュラムの特徴を説明できる。 2 看護教育における授業成立の要件と学習者の特徴について述べるができる。 3 授業・実習・演習の設計方法と評価方法について説明できる。 4 授業見学及び模実習指導案作成・発表を通して効果的な教授過程を論じることができる。				
内 容	1	カリキュラムの理解とカリキュラムデザイン	看護教育におけるカリキュラムデザイン, カリキュラムの理念と評価	坂本真理子	
	2		タキソノミーと授業到達度, 学生の自立度と自己効力感に合わせた授業設計	坂本真理子	
	3	授業成立の要件と学習者の理解	授業とは何か: 学習理論, レディネス	坂本真理子	
	4		授業成立の要件: 教授者, 学習者, 教育内容の特徴	坂本真理子	
	5	授業設計と評価	授業設計と授業案作成(学生観, 教育観, 教材観)	篠田かおる	
	6		教育評価の方法	篠田かおる	
	7	看護学における技術演習教育	看護学演習と教授活動・学習活動, 技術演習の授業案作成	篠田かおる	
	8	看護学における実習教育	看護学実習における特質, 学生の理解, 看護学実習における教授活動, 実習指導案, 看護現象の教材化	篠田かおる	
	9	授業案作成	演習: 授業案作成	坂本真理子 篠田かおる	
	10		演習: 授業案作成		
	11		演習: 授業案作成		
	12		演習: 授業案作成		
	13	授業案の発表	授業案の発表とフィードバック	坂本真理子 篠田かおる	
	14		授業案の発表とフィードバック		
	15	まとめ	全体の振り返り レポート提出		
学修方法	1 参考図書や授業中に提示する文献を事前に読み, 授業に臨むこと。 2 授業では学生とのディスカッションを通してテーマに関する学びを深める。 3 授業内容への質問, プレゼンテーション及びレポートの内容についてフィードバックを行い, 学修効果を高めていく。 4 1コマあたり, 90分以上の事前・事後学修が必要となる。				
評価方法	授業への積極的な参加を評価する。 授業案内容(40%), プレゼンテーション(30%), 課題(30%)				
教科書・参考書	テキスト: 特に指定しない。 参考図書: 1 舟島なをみ監:「看護学教育学における授業展開 第2版」, 医学書院, (2020/9), 3,740円(税込) 2 中井俊樹, 森千鶴編:「教育と学習の原理」, 医学書院, (2020/9), 2,640円(税込) 3 中井俊樹, 服部律子編:「授業設計と教育評価」, 医学書院 (2018/3), 2,640円(税込) その他, 授業中に紹介する。				
履修上の注意点	講義期間中に看護学部での1科目以上の授業見学をすることが望ましい。調整は教学課で行う。				
オフィスアワー	坂本真理子: 水曜日 16:10~17:40 C棟5階 教授室1 篠田かおる: 水曜日 16:30~18:00 看護学部棟2階 N257研究室				